

理研会報

平成24年1月20日

NO.354

今後、機会を捉えて、各学校の理科室の様子をお伝えしていきたいと思えます。題して「理科室の旅」です。第一回目は、佐倉市立臼井小学校の理科室をご紹介します。

理科室の旅 第一回

佐倉市立臼井小学校の理科室

<教室の前面掲示>



教室割り当ても掲示しています。

前面には、授業の進め方や化学薬品の扱い方、ノートの手入れ、結果のまとめ方のヒントなどを掲示してあります。また、理科室の

<側面1>



廊下側の側面には、実験で頻りに使う実験器具の使い方、注意事項を掲示しています。

<優秀作品の掲示>



見栄え良く、優秀な理科作品は児童の保護者に連絡をとり、寄贈してもらって掲示しています。

<側面2>



反対側の側面には観察のポイントを掲示しています。どのようなことに気をつけて観察すればよいかを一目でわかるようにしています。

<背面>

背面には季節には、季節によって変化する生き物や植物、星座などを季節ごとに掲示しています。また、千葉県で見られる地層もまとめて掲示しています。



以上、臼井小学校の理科室でした。今後も多くの学校の理科室の情報をお伝えして参りたいと思えます。ご協力よろしくお願いたします。

教科書の中から...

学習指導要領で新しく導入された6年生の学習に蓄電や発熱があります。電熱線の発熱において、昨年度の指導書に掲載されていた実験器具を実際に作成してみました。

電熱線の発熱を調べるときに使う器具



材料

キッチンテープ 100円

温度計シール 100円

ニクロム線 10m 371円

板目表紙

材料費もそれほどかからずに、簡単に作成することができました。

同じように発熱する温度を測る器具を教材カタログで調べてみると、バカにできない値段がします。温度計を使用する方法もあると思えますが、この教具はいちいち温度計を取り外す必要がないので、そのまま理科室に保管することができ、場所もとりません。ぜひお試しください。